

京都市町村体制づくり支援交付金 自己評価調書

団体名：与謝野町

1. 平成27年度 市町村体制づくりの取組について【総括表】

計画の概要等	背景	昨今の少子高齢化の急速な進行のなか、平成15年のいわゆる「三位一体の改革」により、地方交付税が大きく削減されるなど、財政力の脆弱な自治体では財源の確保が困難な状況が続いている。本町の財政も交付税等に大きく依存しており、それらの増減に左右されない持続可能な行財政運営への変換を迫られている。		
	必要性	「三位一体の改革」等の影響により、基礎自治体としての体力強化を余儀なくされた加悦町・岩滝町・野田川町は平成18年に合併し、与謝野町として新たに出発することとなった。合併による財政面での優遇はあるものの、合併当初の経常収支比率は96%と財政面での余力がない中で新町がスタートした。今後一般財源の大幅な減少が見込まれる中、類似団体を上回る行政規模を適正規模に縮減し、指定管理者制度の活用等により効率的な行財政システムを確立することによって、平成19年度に策定した総合計画の実現を目指す。		
	概要	合併後15年間の合併調整期間の中で、特に平成20～24年度を行政改革期間（随時延長）と位置づけ「20億円の行政改革効果」と「経常収支比率の低減」を目指し、徴収体制の強化による税収の増、職員数の削減、事業精査・施設の長寿命化対策による地方債発行の抑制、公共施設の統廃合・民間委託などを行う。		
	効果	本計画の実行により経常経費の削減・地方債残高の減少等、財政負担が軽減され、持続的・安定的な行財政運営が図られる。		
事業実施による効果について				
事業分類	事業名・実施項目	取組実績の概要	主な実績数値（出来高数値等）	事業効果（単位：人・千円等）
小規模市町村支援	町道維持補修事業	町道長寿命化のため適切な維持補修を行った。	町道 2 3 箇所の維持補修修繕	町道の修繕・維持補修を行い、整備事業費抑制について、5力年で206,327千円の効果額を計上する見込み。
	河川維持補修事業	河川・水路の長寿命化のため適切な維持補修を行った。	河川・水路 5 箇所の維持補修修繕	河川・水路の修繕・維持補修を行い、整備事業費抑制について、5力年で47,497千円の効果額を計上する見込み。
	廃棄物処理施設補修事業	廃棄物処理施設長寿命化のため適切な維持補修を行った。	廃棄物処理施設維持補修工事 2 件	廃棄物処理施設の修繕・維持補修を行い、整備事業費抑制について、5力年で9,236千円の効果額を計上する見込み。
	町営住宅維持補修事業	町営住宅長寿命化のため適切な維持補修を行った。	町営住宅維持補修工事 5 件	町営住宅の修繕を毎年行うことで大規模改修等の整備事業費の軽減が図られ、5力年で45,078千円の効果額を計上する見込み。
	農業用施設維持補修事業	農業用施設長寿命化のため適切な維持補修を行った。	農業用施設維持補修工事 2 件	農業用施設の修繕・維持補修を行い、整備事業費抑制について、5力年で21,759千円の効果額を計上する見込み。
	し尿処理施設維持補修事業	し尿処理施設長寿命化のための適切な維持補修を行った。	し尿処理施設維持補修工事 1 件	し尿処理施設の修繕・維持補修工事を行い、整備事業費抑制について、5力年で9,519円の効果額を計上する見込み。
	学校施設維持補修事業	学校施設長寿命化のため適切な維持補修を行った。	学校維持補修工事 5 件 （小学校 5 中学校 0）	学校施設の修繕・維持補修を行い、整備事業費抑制について、5力年で15,024千円の効果額を計上する見込み。
	公共施設省エネルギー化事業	公共施設の電灯を消費電力の少ないLEDに更新し、コスト軽減と設備の長寿命化を行った。	庁舎のLED化工事	公共施設の省エネルギー化整備を行い、電気料金の削減について、5力年で16,923千円の効果額を計上する見込み。
広域連携事業支援	丹後地域特産品販路開拓事業	宮津市、京丹後市と連携し「特産品ショップ ホット丹後」の運営を行った。	与謝野町負担金 2 1 0 千円	与謝野町負担金210千円で、与謝野町単独の出店と比べ大幅な経費節減（単年度4,890千円）の効果。
	織物振興対策事業	京丹後市、丹後織物工業組合との連携による販路開拓、産官学連携、製品開発、販売促進事業を行った。	与謝野町負担金 1, 5 0 0 千円	与謝野町負担金1,500千円で、与謝野町単独の出店と比べ大幅な経費節減（単年度9,200千円）の効果。
	宮津与謝広域ごみ処理施設整備準備事業	宮津市、伊根町との連携によるごみ処理施設建設事業を行った。	与謝野町負担金 5, 0 6 2 千円	与謝野町負担金5,062千円で、与謝野町単独の建設と比べ大幅な経費節減（単年度97,714千円）の効果。
	公共交通利用促進事業	高齢者片道 2 0 0 円レール切符の取り組みを行った。	与謝野町負担金 1, 9 6 9 千円	与謝野町負担金1,969千円で、与謝野町単独の取り組みと比べ大幅な経費節減（単年度17,675千円）の効果。

（記載要領）

- 記載欄が不足する場合は、適宜追加すること。
- 「主な実績数値（出来高数値等）」、「事業効果」については、出来るかぎり数値化した客観的な指標を記載すること。